

学校便り
6月号



あしら

創立148周年
米作り
追い込み漁
特認校

芦花部校ブログ



携帯QRコード

奄美市立芦花部小中学校

～芦花部・有良～

令和8年6月30日(火)

一生懸命な姿は、人に勇気、元気、感動を与える

校長 有川 直美

テレビをつけると、辛く悲しい事件・事故の報道が多い中で、サッカーにおける日本チームの頑張りが私たちに元気を与えてくれます。強い団結力、それぞれの選手の熱い思い、そこに日本チームの魅力を感じます。決勝トーナメントに進み、誰もが期待した初戦のブラジル戦。先制点は取ったものの、同点、そして、アディショナルタイムに追加点を取られ、惜しくも敗退しました。試合終了後、多くのサポーターがじっと黙って、中には涙を浮かべながら、個々に試合を振り返っている様子が印象的でした。悔しい思いはあるけれど、感動を与えてくれた日本チームに心からの感謝を伝えているように見えました。この思いをつなげ、さらに日本チームが強くなり、多くの感動を与えてくれることを願います。

みなさんには1度話をしたことがあります。17年前、私の母が病気で長く入院したときの話です。私はその当時、中学3年生の担任をしていました。5週間もの集中治療室を経て、リハビリ病院に転院し、やっと自由に面会し、話ができるようになりました。その時の話題は、私の学級の生徒の一生懸命頑張る話ばかり。しまいには母も生徒の名前を覚えてしまうほどです。楽しそうに話をする母の顔を見るのがとてもうれしかったです。

一生懸命って本当に素晴らしい。どんなことにも一生懸命取り組み、みんな元気に成長していきたいですね



日常の中にも きらりと輝く 思いやりの心を ～一人ひとりの人権を大切に～

6月は鹿児島県でも「ハンセン病問題を正しく理解する週間」や男女共同参画など、多様な人権に関する啓発活動が展開される時期です。本校におきましても、これらに合わせて「人権集会」を開催し、児童・生徒一人ひとりが人権について深く考える機会を設けました。

集会の中で、小学校では「ハンセン病問題」をテーマに、過去の歴史や偏見の恐ろしさを学び、正しい知識を持つことの大切さを学びました。一方、中学校では「人権そのもの」に焦点を当て、自分や他者の尊厳を守るとはどういうことか、多角的な視点から意見を交わしました。どちらの集会でも、子どもたちが真剣な眼差しで向き合う姿がとても印象的でした。

人権を守るということは、決して特別なことではありません。日々の学校生活や家庭生活の中で、“言葉”に耳を傾けること、自分の意見も相手の意見も同じように大切にすること、そして困っている人にそっと手を差し伸べること。そうした「日常の小さな気づきや行動」の積み重ねこそが、すべての人の人権を守る確かな一歩となります。

今回の集会で学んだことを一過性のものにせず、日々の生活の中で思いやりを行動に移せるよう、今後も学校全体で支援を続けてまいります。ご家庭でもぜひ、この機会にお互いを大切にすることについて話し合ってみてください。



新たな出会い あたたかな交流 ～“留学生”との交流から学ぶ～

6月、本校に新たな出会いの風が吹きました。市内の大規模校から児童を迎えた「ふるさと体験留学」では、豊かな自然の中で共に学び、芦花部校の魅力に触れてもらう活動を通して温かい絆が生まれました。また、米国のナカドウチェス市から3人の留学生が来訪。言葉の壁を越えて笑顔で交流し、世界を身近に感じる貴重な時間を過ごしました。

日常の中で多様な人と触れ合い、違いを認め合って行動する経験も子供たちの人権感覚を磨くよい機会となりました。

7月の主な行事

2日(月) 期末テスト(中、～3日)
9日(木) 学級PTA・高校説明会(中)
16日(木) 親子読書会(小)
17日(金) 終業式
20日(月) 海の日

8月の主な行事

5日(水) ひかり議会
11日(火) 山の日
12日(水) 学校閉庁日(～14日)
21日(金) 出校日
23日(日) PTA 校区合同奉仕作業 予定

芦花部校学校支援ボランティア
まだまだ 絶賛募集中!!



申し込みは
QRコードから

